

令和4年度(2022年度)

熊本県学力・学習状況調査 結果概要

1 調査の概要

(1)実施期間 令和4年(2022年)12月1日(木)~12月9日(金)

(2)調査対象 市町村立小学校第3~6学年、中学校第1~2学年

(※義務教育学校第3~8年含む。熊本市を除く。)

| 小学校 | | 中学校 | |
|--------|----------|--------|----------|
| 調査対象校数 | 調査対象児童概数 | 調査対象校数 | 調査対象生徒概数 |
| 238校 | 約36,000人 | 118校 | 約18,000人 |

(3)調査事項 教科に関する学力調査【小学校】国語、算数【中学校】国語、数学、英語
質問紙調査【児童生徒用】学習習慣や生活習慣、友達や学校との関わり等
【教師用】授業改善の状況等

2 教科に関する調査結果概要

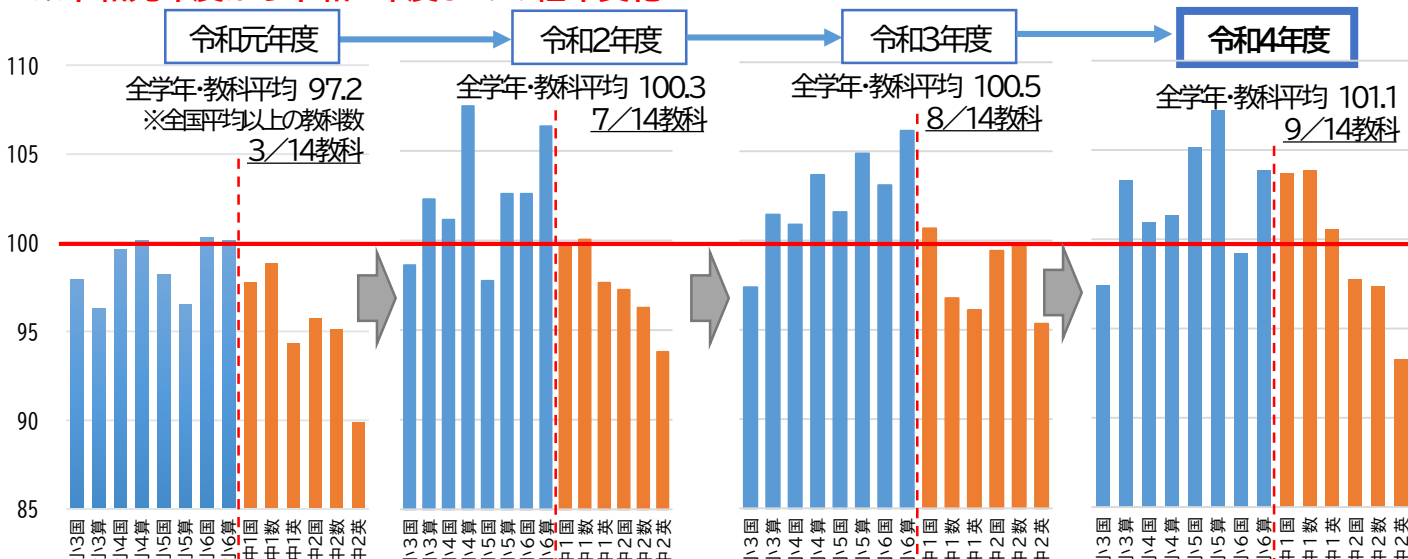
※数値は、全国平均値を100とした時の県平均の割合

※全国平均値は、同調査を受けた他県等の結果を含めた参考値

| 学年 | 小学3年 | | 小学4年 | | 小学5年 | | 小学6年 | | 中学1年 | | | 中学2年 | | |
|---------------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|------|------|
| | 国語 | 算数 | 国語 | 算数 | 国語 | 算数 | 国語 | 算数 | 国語 | 数学 | 英語 | 国語 | 数学 | 英語 |
| 熊本県 | 97.4 | 103.3 | 101.0 | 101.3 | 105.1 | 107.2 | 99.2 | 103.9 | 103.7 | 103.9 | 100.6 | 97.7 | 97.4 | 93.2 |
| 熊本県 (R3年度) | 97.4 | 101.5 | 100.9 | 103.7 | 101.6 | 104.9 | 103.1 | 106.2 | 100.7 | 96.8 | 96.1 | 99.4 | 99.9 | 95.3 |
| 熊本県 (R2年度) | 98.6 | 102.3 | 101.2 | 107.5 | 97.8 | 102.6 | 102.6 | 106.4 | 99.7 | 100.1 | 97.6 | 97.3 | 96.2 | 93.8 |
| 熊本県 (R元年度) | 97.9 | 96.3 | 99.6 | 100.1 | 98.2 | 96.5 | 100.3 | 100.1 | 97.8 | 98.9 | 94.3 | 95.7 | 95.1 | 89.9 |

正答率が全国平均以上だった項目は、小学4、5年の国語、小学3~6年の算数、中学1年の国語、数学、英語である。

※令和元年度から令和4年度までの経年変化

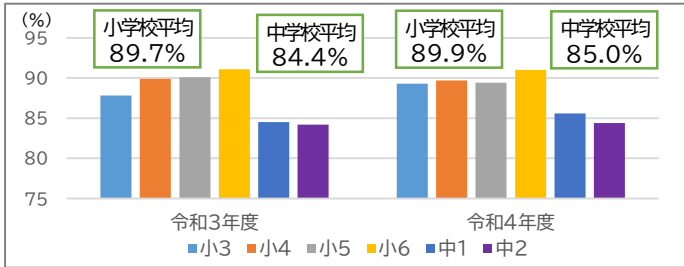


全国平均を上回る教科が増加している。中学校において、過去4年間の調査で初めて1年生の全教科が全国平均を上回り、小中学校の接続に改善の傾向が見られた。

3 質問紙調査結果概要

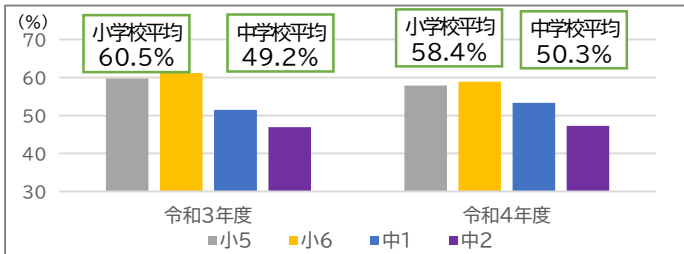
児童生徒の学習に関する取組状況（児童生徒質問紙調査）

○ 先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか。 ※肯定的に回答した児童生徒の割合



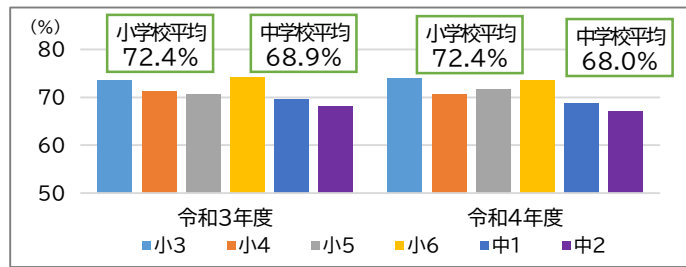
小中学校平均は、昨年度と比較して向上している。小学生と中学生では、約5%の意識の差が見られる。

○ 勉強するときは、自分で計画を立てていますか。 ※肯定的に回答した児童生徒の割合 ※令和3年度調査以降、小3・4年の実施なし



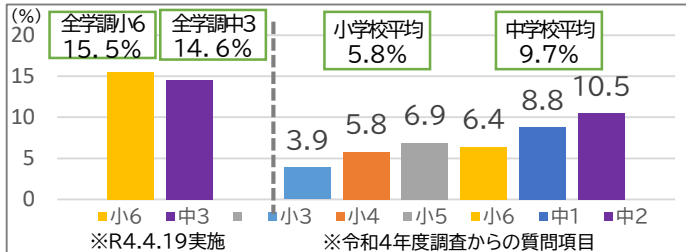
小学校平均は昨年度より低くなっているが、中学校平均は昨年度より向上している。 ※R4全国学力・学習状況調査時の結果(小6:69.3%、中3:54.7%)

○ 授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか。 ※肯定的に回答した児童生徒の割合



小中学校ともに、昨年度と同程度である。 ※R4全国学力・学習状況調査時の結果(小6:74.7%、中3:73.0%)

○ 家で学校からの課題で分からないことがあったとき、どのようにしていますか。 ※「そのままにしている」と回答した児童生徒の割合



小中学校ともに、学年が上がるにつれて、分からないことがあったとき、そのままにしている児童生徒が増える傾向にある。

教師の授業改善に関する取組状況（学校教師質問紙調査）※「熊本の学び」との関連

○ あなたは、単元や題材など内容や時間のまとまりを見通しながら、児童生徒の主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を心がけていますか。 ※肯定的に回答した教師の割合

| 校種 | R2年度 | R3年度 | R4年度 |
|-----|-------|--------|--------|
| 小学校 | 93.1% | 93.7%↗ | 95.2%↗ |
| 中学校 | 91.0% | 93.4%↗ | 94.6%↗ |

○ あなたは、授業に当たって、単元終了時の児童生徒の姿を具体的にイメージして指導を行っていますか。 ※肯定的に回答した教師の割合

| 校種 | R2年度 | R3年度 | R4年度 |
|-----|-------|--------|--------|
| 小学校 | 94.3% | 95.6%↗ | 96.8%↗ |
| 中学校 | 91.9% | 94.9%↗ | 95.3%↗ |

肯定的な回答が年々増加し、子供を主体とした授業改善への意識や、大切にしていきたい項目の一つ「単元終了時の子供の姿」を設定した授業づくりが定着してきている。

「認め、ほめ、励まし、伸ばす」(本県の教育行動指標)に関する調査結果

| 児童生徒質問紙調査 | | | | 学校教師質問紙調査 | | | |
|--|--|--|--|---|--|--|--|
| ○ 先生はクラスのみんなのことを、ほめたりはげましたりしてくれますか。(小3・4)先生はクラスのみんなのことを、ほめてくれますか。 ※肯定的に回答した児童生徒の割合 | | | | ○ あなたは、授業等で関わる児童生徒に対して、学校生活の中で、児童生徒一人一人の良い点や可能性を見付け評価する(褒めるなど)取組をどの程度行いましたか。 ※「よく行っている」+「どちらかといえば行っている」と回答した教師の割合 | | | |

| 校種 | R2年度 | R3年度 | R4年度 | 校種 | R2年度 | R3年度 | R4年度 |
|-------|-------|--------|--------|-------|-------|--------|--------|
| 小学校平均 | 86.9% | 93.9%↗ | 94.3%↗ | 小学校教師 | 98.0% | 97.9%↘ | 98.9%↗ |
| 中学校平均 | 84.8% | 92.3%↗ | 93.8%↗ | 中学校教師 | 96.6% | 97.3%↗ | 96.7%↘ |

ほめてくれると感じている児童生徒が年々増えている。

褒めるなどの取組を行っている教師の割合は高い。